

各位

上場会社名 株式会社 京写
 代表者 代表取締役社長 児嶋 一登
 (コード番号 6837)
 問合せ先責任者 執行役員人事総務・経理財務担当
 平岡 俊也
 (TEL 075-631-3193)

第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年7月31日に公表した2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2019年7月31日に公表いたしました2020年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期 第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異 (2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,000	100	90	50	3.49
実績値 (B)	9,581	54	51	35	2.49
増減額 (B-A)	△418	△45	△38	△14	
増減率 (%)	△4.2	△45.7	△43.1	△28.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	10,535	196	209	134	9.37

2. 2020年3月期 通期連結業績予想値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,500	500	480	300	20.94
今回修正予想 (B)	19,200	150	130	100	6.98
増減額 (B-A)	△2,300	△350	△350	△200	
増減率 (%)	△10.7	△70.0	△72.9	△66.7	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	21,035	498	471	293	20.48

3. 差異及び修正の理由

当第2四半期累計期間の売上高については、主に米中貿易摩擦を背景に国内外で家電製品分野や中国での自動車関連分野の需要が低迷したことにより、前回予想を下回りました。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については、海外での減収の影響と国内での自動車関連分野向けの増産対応遅れによる機会損失等により、前回予想を下回りました。

通期につきましても、米中貿易摩擦は長期化の様相を示しており、当初の想定を超えて厳しくなることも予想されるため、これまでの状況を総合的に勘案し2020年3月期通期の連結業績予想を修正いたします。

なお、期末の配当予想については修正いたしません。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績は、今後の様々な要因によって上記予想と異なる場合があります。

以上